

## ひたちなか市教育委員会会議録

平成26年 第5回 ひたちなか市教育委員会4月定例会 会議録					
平成26年4月9日		開会 午後2時00分		閉会 午後3時45分	
○場 所	那珂湊支所				
○出席委員	委員長 小田島 俊夫	委員長職務代理者 石田 厚子		委員 沓澤 久美子	教育長 木下 正善
○欠席委員			委 員 西野 信弘		
○会議に出席 した構成員	補 職 名			氏 名	出・欠
	教育次長			鈴木 幸男	出席
	総務課長			岩崎 龍士	出席
	参事（教育担当）			廣瀬 佳久	出席
	参事兼指導課長			森井 榮治	出席
	施設整備課長			澤島 恵一	出席
	学務課長			石崎 聡一郎	出席
	参事兼青少年課長			阿部 美代子	出席
	中央図書館長			大和田 雅一	出席
文化財室長			小澤 功	出席	
○事務局員	総務課係長			一木 宙	出席
	総務課主幹			黒澤 一彦	出席
	総務課主事			小野寺 優	出席
○議 事					
1 議 案	議案第23	ひたちなか市立学校の学校医の委嘱について【公開】			
	議案第24	ひたちなか市立図書館協議会委員の委嘱について【公開】			
その他	①	今後の市立図書館のあり方に係る諮問について【公開】			
	②	平成26年度各課主要事業について			

平成26年第5回ひたちなか市  
教育委員会4月定例会会議録（概要）

開会 14:00

教 育 長 議事に入る前に、4月1日付けで市の職員の人事異動がありましたので、異動があった職員より自己紹介をさせていただきます。  
(異動した職員が挨拶をする)

委 員 長 (あいさつ、開会の宣言)

**議案第23号 ひたちなか市立学校の学校医の委嘱について**

学 務 課 長 平成26年度になり、3名の学校医が変わることになりました。東石川小学校、長堀小学校、東石川幼稚園の先生が新任となります。本来であれば年度が変わる前の3月に委嘱の議案を提出するところですが、医師会からの推薦が先月の手続きに間に合わなかったため、4月の議案になりました。

**【質疑、意見等】**

特になし

(異議なしとの声あり)

\* 議案第23号 ひたちなか市立学校の学校医の委嘱については、全員一致で承認されました。

**議案第24号 ひたちなか市立図書館協議会委員の委嘱について**

中央図書館長 ひたちなか市立図書館設置及び管理条例第4条第3項の規程に基づき、ひたちなか市立図書館協議会委員を委嘱するものです。現在図書館協議会委員は11名で構成されていますが、新たに外部から図書館の設置及び運営に造詣の深い方々4名を追加し、15名の構成で検討をしていきます。今回委嘱する委員の任期は、平成27年の6月30日までとし、従来の図書館協議会委員の任期に合わせています。

**【質疑、意見等】**

特になし

(異議なしとの声あり)

\* 議案第24号 ひたちなか市立図書館協議会委員の委嘱については、全員一致で承認されました。

**その他（１） 今後の市立図書館のあり方に係る諮問について**

中央図書館長

今後の市立図書館のあり方を検討する中で、今後の市立図書館の目指す方向性及び運営内容、施設・機能について、市民に魅力的で有益なサービスを提供するため諮問を行います。半年間で審議のまとめを行い、翌年１月に答申を頂くことになっています。

**【質疑、意見等】**

特になし

**その他（２） 平成２６年度各課主要事業について**

総務課長

①教育委員会会議の運営、また教育委員が地域の状況を把握するために施設訪問や懇談会を行い、その活動をホームページで紹介します。

②教育委員会制度の改革に対して、国の改正を受けての本市の対応を決めていく必要があるため、国の動向を注視しながら対処してきます。

③平成２０年度から継続して実施している、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施します。

④昨年度から実施している教育基本計画の策定会議を引き続き行います。

⑤幼児教育の充実として、保育所と幼稚園の機能を合わせもった認定こども園か、公立幼稚園として存続していくかを、子ども子育て審議会を設置して検討します。

⑥労働安全衛生法に基づき、労働安全事業を実施します。

⑦優良な学生で経済的理由によって修学が困難な方を対象にした、奨学資金貸与事業を実施します。

⑧例年開催している教育振興大会ですが、今年度は会場である文化会館が工事で使用できないため、しあわせプラザで開催します。

⑨除染計画に基づいて行った作業で剪定した枝を、学校に仮置きしていますが、放射線量が高い箇所もあるため、低減対策として覆土作業を実施します。

文化財室

今回の改編により、文化財を除く芸術文化部門が市民生活部生涯学習課に移管されました。

①毎年４，０００人が来館している武田氏館の開設を、例年通り行います。

②史跡の整備事業として虎塚古墳の保存対策と公開を実施します。毎年春と秋に８日間公開を行っており、今年の春の来場者は９３９人でした。秋の公開は１０月３１日からを予定しています。

③文化財の保護事業として、現在文化財指定に向けて四朗介稲荷神社と平磯三社祭の２件を調査中です。また昨年度解体したふるさと懐古館の資料ですが、

現在湊公園ふれあい館での展示を検討中です。

④文化財愛護協会補助事業は、現在文化財保護管理団体が15団体あり、今後も活動の普及をすすめていきます。

⑤埋蔵文化財調査センター運営及び調査事業についてですが、埋蔵文化財調査センターは生活・文化・スポーツ公社に管理業務を委託しています。来場者への対応や調査業務、講座の開催や企画が主な業務となります。調査事業としては、国庫補助を受けて史跡発掘調査や十五郎穴横穴墓群遺跡調査、三反田遺跡出土遺物の復元や活用事業を行っています。

施設整備課長

①小中学校耐震化事業として、耐震化工事は、校舎が6校14棟、体育館が9校9棟になります。耐震補強設計は7校19棟に、改築設計は4校12棟に関して行います。

②施設整備事業については、校長会からの要望や整備計画を基に調査を行い、早急に改修が必要な箇所を優先的に実施しています。今年は空調機の設置や柔剣道場の天井落下防止等を行う予定です。

学務課長

①ひたちなか市立小中学校適正規模・適性配置基本方針に基づいて検討をしており、平磯小学校と阿字ヶ浦小学校、平磯中学校と阿字ヶ浦中学校をそれぞれ統合することを考えています。昨年行ったアンケートを基に、より具体的な案を提示しながら意見交換を行っていく予定です。

また小規模校である枝川小学校については、地域や保護者の方々が枝川小学校の存続を望んでいますので、子どもの教育環境を整える必要性を理解してもらいながら検討していきたいと思えます。

②学校管理用品の整備として、老朽化した備品や児童の使用する机や椅子の買換えを行います。

③学校教育用備品の整備として、教材備品や雑貨、学校図書館の蔵書の購入を行います。

④学校給食用備品の整備として、老朽化した学校給食用厨房備品の買換えと、那珂湊中学校給食室に配置する新しい備品を購入します。

⑤経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者を対象にした就学援助費・特別支援教育奨励費の支給を行っていきます。具体的には

(1)生活保護を受けている世帯に対して、要保護就学援助費として、国庫補助を受けて医療費と修学旅行費を援助します。

(2)前年の収入が生活保護法による最低生活費の1.3倍未満の世帯を対象に、市の単独事業として学用品費や給食費、医療費等を援助します。

(3)特別支援学級に就学している児童生徒の保護者に対して、特別支援教育

就学奨励費として、国庫補助を受けて学用品費や給食費、修学旅行費等を援助しますが、収入によって受けられない世帯もあります。

⑥幼児教育の振興として、2つの事業があり

(1)私立幼稚園に就園する市内在住の保護者を対象に、扶養人数や市民税所得割課税額、同時に就園している人数に応じて、年62,200円から308,000円を交付する私立幼稚園就園奨励費があります。

(2)私立幼稚園に就園する4,5歳児の市内在住の保護者を対象とした、私立幼稚園保育料等助成金があります。こちらは公立幼稚園との差を埋める目的の事業で、月額1,000円の助成となります。

⑦東京電力福島第一原子力発電所事故対応として、学校給食と学校プールの放射線物質検査を今年度も継続して行います。

#### 指 導 課

①スマイルスタディサポート事業として例年5名を配置していましたが、今年は10名で支援にあたり、加配措置のない学校に重点的に配置します。

②不登校対策事業として、心のサポーター等の5事業のサポーターや相談員を配置します。

③わくわくサイエンス・サポーター事業については、全小学校に1名配置をし、理科授業の充実と、教員の指導力の向上を支援していきます。

④地域で支える生徒指導推進事業については、各中学校区の関係団体がそれぞれ行動目標を設定して活動し、年に2回開催している生徒指導連絡協議会で活動報告や連絡を行っています。またいじめ防止の周知活動も行っています。

⑤英語指導助手配置事業については、13名のAETを幼稚園や小中学校に派遣をして授業を行っています。

⑥学校介助員配置事業については、今年は介助員の申請があった生徒が87名おり、それに対応して35名の内30名を4月に配置しました。残りの5名については、入学後の状況をみてから5月に配置する予定です。

⑦コミュニティゲスト事業については、幼稚園や小中学校にゲストティーチャーを派遣し、体験事業等の多様な学習活動を展開していきます。

⑧学校図書室補助員配置事業については、今年度で市内の小中学校全てで蔵書のデータベース化が完了する予定です。

⑨研究推進員配置事業については、教育研究所に学級経営と特別支援教育担当の研究推進員を配置し、教職員への支援や助言、相談を行っています。

#### 青少年課長

今年度生涯学習課と分かれて青少年課になりました。また執務場所が、4月21日から青少年センターになります。

①放課後子どもプランとして2つの事業があります。

(1) 学童クラブについては、今年度29教室を開設します。全クラブの定員1,750人に対して現在1,428人が登録しており、すでに上限に達したクラブもいくつかあります。昨年度に振替休業日にも開設して欲しいとの要望があったため、今年度から振替休業日も午前8時から午後6時まで開設します。

(2) 放課後子ども教室については、放課後や土曜日に、異年齢の子どもや大人との交流やスポーツ等を行う事業で、高野小学校や枝川小学校等の6校で実施しています。

②青少年育成事業として6つの活動があり、

(1) 洋上学習として、7月20日から24日に市内の小学校6年生を対象に北海道での研修を行います。

(2) 自然体験キャンプとして、8月21日から23日に市内の小学生5・6年生を対象に、常陸太田市の里美野外活動センターで行います。

(3) 青少年仕事体験交流事業として、市内の小学生5・6年生を対象に笠間市での陶芸や林業体験、ひたちなか市海浜鉄道での体験事業を予定しています。

(4) 青少年の科学の祭典事業を例年通り実施します。

(5) 例年文化会館で、成人の集いを行っていますが、来年は文化会館が工事中のため、総合運動公園の1階エントランスで開催予定です。

(6) 民間から土地を借りて展開している子どもの遊び場ですが、子どもがそこで遊ばなくなったことや遊具の不具合が増えていることから、今年度から徐々に閉鎖していきます。子どもの遊び場は閉鎖しますが、市民活動課で同じような場所を設けることが決定しています。

③青少年団体育成事業については、今まで所管していたいくつかの団体が、他課の所管となり、残りのひたちなか市高校生会を含む6団体を所管することになります。6団体の補助金の額は、昨年度と変更ありません。

④青少年センター運営事業については勤労青少年ホームを変更し、青少年センターとして4月から開館しており、青少年への相談や街頭補導を実施していきます。開館時間は変わりませんが、施設の貸出しは一般の方にも行えるようになりました。

⑤青少年センター施設整備業務として、図書室と体育室の空調設備を新設します。

⑥社会教育委員については、今まで生涯学習課が所管していましたが、生涯学習部門が市長部局に移管されたため、今後は青少年課が所管します。現在の委員の任期が7月で満了になるので、それに合わせて青少年育成の観点から委員の方を委嘱します。活動内容が多岐に渡るため、委員の意見を聴きながら活

動していく予定です。

中央図書館長

①図書館の運営として津田分室を含む4館の適切な運営に努めていきます。開閉時間及び休館日は昨年と変更ありません。25年度の入館者数は472,405人で、貸出件数としては蔵書823,445点、映像資料466,780点となります。

②図書充実として、最新の図書資料や視聴覚資料を購入することで、内容の充実を図っています。昨年度の3館合計の蔵書購入数が17,600冊、視聴覚資料購入数が500点となります。

③図書の振興として、本や読書に関連づけた各種講座の開催を通して読書の振興と図書館の利用拡大を図っています。新規の取組みとして、市政誕生20周年及び中央図書館40周年記念講演会を行います。その他継続して行っている講座については、今年度も開催します。

④子ども読書活動推進事業として、子ども読書活動推進計画に基づき施策の取組みを行っています。具体的には、

- (1) ボランティアによる読み聞かせや、技術向上に向けた研修会
- (2) 子ども読書週間の開催
- (3) 手作り絵本教室等の夏休み体験教室
- (4) 正月、春、秋の年3回開催する図書館福袋を実施しています。

⑤施設整備事業として、佐野図書館の空調設備工事や赤ちゃんふれあいルームの壁紙張替え、中央図書館の受電設備改修工事等を行います。

⑥図書館の今後のあり方の検討として、図書館協議会を設置して図書館の役割や機能、運営方式等について協議を行い、協議結果を市に報告します。

#### 【質疑、意見等】

石田委員  
総務課長

除染についてですが、現在どのように保管しているのですか。  
児童生徒が近づかないような場所に仮置きをして、上からブルーシートを被せています。雨風でシートがめくれたりするので、その都度シートを掛けなおします。シートも劣化をするので何度か新品に取替えています。

石田委員  
総務課長

現在ブルーシートがかけられているとのことですが、ブルーシートを外して土を被せるのですか。

ブルーシートの上から土を被せる方法で考えています。およそ20cmほど土を被せれば線量が低減できると考えています。

委員長

いくつかの学校の剪定枝に覆土をするということですが、他の場所に運搬して埋めるのではなく、学校から動かさずに覆土するというのですか。

- 総務課長 現在の場所で覆土を考えています。また勝倉小学校では斜面に置いてい  
ますので、覆土がうまくできるかという懸念もあります。そうした点をよく考  
えて来年度も継続するか考えていこうと思います。
- 委員長 覆土作業に関して国の補助は受けられないのですか。
- 総務課長 補助等はありません。
- 委員長 教育委員会制度改革が国会で審議されますが、事前に情報等が入ってき  
たりはしないのですか。
- 総務課長 今のところ、中央教育審議会の審議結果が提供されていますが、具体的  
なものは入ってきていません。おそらく具体的な情報は、法律の改正に目途が  
ついてから、国から県へ、県から市へと情報が来ると思います。まずは改正  
された後にどのように変化するのか、情報を良く把握していく必要があると  
思います。
- 委員長 教育委員会制度改革の内容によっては、教育委員会も全く新しいものに  
変わるということですね。
- 総務課長 事前の情報では教育委員会会議は現状の形で存続するとなっています。現  
状は委員長が主催して教育委員4名が参加して行う形で、教育の大綱的なも  
のを定めることになっています。現状の体制でなくても教育の方針を換える  
ことができるというのが、大きな変化になっています。
- 委員長 教育振興基本計画の策定について、昨年度から進めてきたとの事ですが、  
その進行状況はどのくらいですか。
- 総務課長 教育の基本を議論しているところでして、ある程度固まった段階でお知  
らせいたします。
- 委員長 奨学資金の貸与事業ですが、応募状況はどのようになっていますか。
- 総務課長 年々応募者が減少しており、ここ7年程では1ケタ台というのが現状です。  
詳しい分析はしていませんが、民間の方に応募しているのではと思います。
- 委員長 ふるさと懐古館の資料の展示を湊公園ふれあい館で行う予定とのこと  
ですが、施設が非常に老朽化していると思いますが、資料の展示は大丈夫  
ですか。
- 文化財室 今年に施設を改修することが決まっています、改修した後で展示ができれば  
大丈夫だと考えています。
- 委員長 地域で支える生徒指導について、笑顔プロジェクトを昨年度全小中学校  
で行いましたが、今年度も同じように開催しますか。
- 指導課長 今年度も昨年度と同様に教育研究会の特別活動部と連携を図り、児童会  
や生徒会等の活性化に向けた取組みを柱として進めていこうと考えていま  
す。
- 委員長 学校介助員に関してですが、87名の申請があったとのことですが、介  
助員を87名欲しいという申請だったのですか。
- 指導課長 各学校からの申請に関しては、介助を要する児童生徒の数が87名とい



ことです。それを受けて面接等を実施し、介助員の配置を決定したのが30名となります。1対1でつくのではなく、複数の生徒と関わる介助員もいる状況です。

委員 長  
指導 課長

介助を要する子どもが増えている現状で、対策はありますか。

就学（園）指導委員会を通して判定をしていますが、そこでの審査をしっかり行い、適正な就学を改めて決めていくことが、改善になると思います。また福祉部が所管するみんなのみらい支援室もありますので、そちらとの連携をはかり、支援・助言を頂いたうえで説明をしていきたいと考えています。

石田 委員

介助員に関してですが、入学式に出席した時に、歩行器を使用していた児童がいましたが、介助員がいない時にひとりで立ったり歩いたりすることがあると思います。そうした時に、手すりや階段の段差といった、施設面での対応はしてもらえるのでしょうか。

指導 課長

入学前にわかっている場合には、入学までにスロープを付ける等といった、生活に支障がないように対応はしています。

沓澤 委員  
指導 課長

心の教室相談員ですが、どれくらいの相談件数がありましたか。

昨年度の例ですと、相談件数は688件で、相談者数はのべ1068名になります。

沓澤 委員  
指導 課長

相談を受けた方は、大体悩みが解決したりしているのですか。

話を聞いてもらうだけで、悩みが晴れる場合もありますし、事例等によっては、学校の職員と教育研究所のカウンセリングアドバイザーに助言をもらう、といった連携を取りながら対応するケースもあります。

委員 長

枝川小学校の件はなかなか厳しいと思いますが、慎重に進めて欲しいと思います。

教育 長

今年は2回程会議に出席して、地元の方々の意見を聞いています。枝川小の存続を望んでいる意見が多い状況にありますが、余りにも小さくなりすぎてしまった場合には、子どもにとって良い決断をしなければいけないのではないかと、という問いかけをしているところです。

委員 長

平磯小学校、磯崎小学校区の学校の統合については、アンケートを実施して、その結果を見てからということですか。

学務 課長

現在すでに統合を行う考えはありますが、まだ具体的な計画があるわけではないです。

委員 長

就学援助費に関して、生活保護者に支給するとありましたが、生活保護認定の基準が上がった影響はありますか。

学務 課長

生活保護基準の改定に併せて就園奨励費も変えてしまうと、対象から外れる世帯が急に増えてしまう懸念があり、従来どおりの基準でも可能であると、文部科学省から通知があったため、改定前の基準で行っています。

委員 長 学童クラブを振替休業日に開催するとありましたが、学校に教員がいなくとも開閉できるのですか。

青少年課長 振替休業日でも、教員の方は出勤をしているので、教室の開閉は可能です。

委員 長 センサー等が付いている学校では、休日もセンサーが作動していると思いますが、学童で使用する場合はどうするのですか。

青少年課長 センサーが付いている学校でも、全ての教室についているわけではないため、ついていない部屋を学童で使用しています。

委員 長 図書館の福袋というのは子ども達に人気があるのですか。

中央図書館長 袋に本を入れて渡すだけでなく、しおりや職員が作成したメッセージカード等を添えて渡しており、毎回追加注文をしています。当初はお正月だけでしたが、要望があったため、春と秋も開催することになりました。

委員 長 (あいさつ、閉会の宣言)

閉会 15:45